

今後の対応策(案)

資料-5

項目	対応策(案)
1. 礫の増加	モニタリングを継続し、地域住民、利用者との意見交換を行っていく。 巨礫については、産地での除去の徹底と、現地での処理を実施していく。
2. 濁りの発生	魚類、海藻類などへの影響について、継続して調査を実施する。 水中部の底質について調査を行い、環境への影響を確認する。 良質な養浜材の調達を図る。
3. 漁港周辺の堆砂	モニタリングを継続し、2007年の台風9号と同様な地形変化が生じた場合は浚渫などにより対応する。 6号水路左岸導流堤を来年度から段階的に延伸する。
4. 事業コスト	国の補助事業として、引き続き実施していく。 低コストの近隣からの発生土砂確保に努める。 相模川三川合流河川改修工事での発生土砂について、今年度から、養浜材として利用しており、来年度以降も検討していく。
5. 養浜の継続	河川の置き砂などの取り組みを拡充し、長期的には相模川からの流出土砂量の増加を目指す。
6. 事業のPR	引き続きインターネットで画像を公開する。 浜風通信・パンフレット等にてPRする。

1

今後の対応策(案)〔事業計画〕

養浜とモニタリングを継続するとともに、6号水路左岸導流堤を来年度から段階的に延伸します。
(平成25年度に10m延伸)



図-1 養浜量

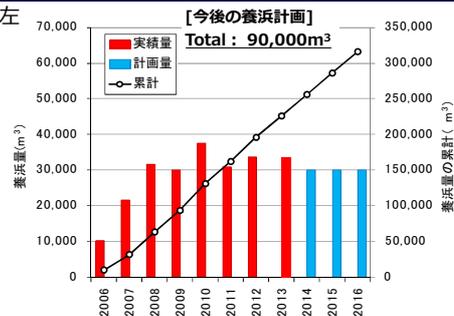
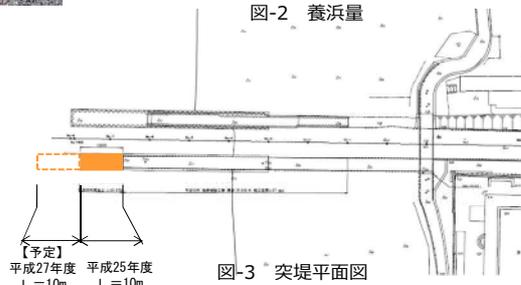


図-2 養浜量



神奈川県藤沢土木事務所なぎさ河川砂防部

今年度、33,000m³の養浜を実施しております。
また来年度、30,000m³の養浜及び6号水路左岸導流堤を10m延伸する予定です。
ご協力をお願いいたします。



神奈川県藤沢土木事務所なぎさ河川砂防部